

## 第 1 回浜田市総合振興計画審議会 会議録

日時 令和 2 年 10 月 29 日(木)

午後 6 時 27 分～午後 8 時 23 分

場所 浜田公民館 (1 階) 研修室

[進行/会長]

◆ 開会	
会長	<p>定刻より少し早いかもしれませんが、ご出席予定委員の皆様、全員お集まりになりましたので、只今から今年度第 1 回になります「浜田市総合振興計画審議会」を始めさせていただきます。</p> <p>議事進行は引き続き会長を務めさせていただいております、私、林の方で進めてまいります。よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、本日はお忙しいところご出席頂きまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本審議会は、総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理について審議することになっておりまして、本日は、令和元年度の進捗状況についてご意見を伺うこととしております。終了予定時刻は午後 8 時 30 分を予定しております。さらに申しますと、この会場は 8 時 45 分までしか使用できないということですので、そのところご注意ください、一方で委員の皆様のご忌憚りの無いご意見をいただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開会にあたりまして砂川副市長よりご挨拶をいただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。</p>
1 副市長あいさつ	
副市長	<p>失礼いたします。今年 4 月から副市長を務めております砂川でございます。今日は大変お忙しい中、また夜分にお出かけいただきまして、ありがとうございます。この振興計画等、今日ご意見をいただく計画は、平成 27 年度にいろいろな方のご意見をいただいて作りまして、平成 28 年度からこれに基づいた市政を行っております。この計画も早いもので今年度が 5 年目ということで、令和 3 年度までの計画となっております。進捗管理のご意見をいただきますが、来年度には新しい後期計画の策定ということも出てくるのではと思っております。いずれにしても、市民の皆様からいろいろな意見をいただきながら、浜田市の施策を組んでいきたいと思っております。</p> <p>現在コロナ禍の中で、皆さんにご不自由もお掛けしているのではと思っておりますけども、市民の皆さんと一緒にあってより良い浜田市を作っていこうと思っております。忌憚りの無いご意見をいただきますように、よろしくお願いいたします。</p>
〔委員・職員紹介〕	
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の委員の出席状況を事務局からお願いします。</p> <p>あわせて、配布資料の確認もしていただけたらと思います。</p>
政策企画課長	<p>失礼いたします。政策企画課長をこの 4 月から務めております大屋と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>私の方から、本日の委員の出席状況及び配付させていただいております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>はじめに、委員の皆さんにおかれましては、昨年審議会の中で「もう 1 年引き続き」ということをお願いをさせていただきました。ということで、委員の皆様</p>

には1年延長し、お務めいただくこととさせていただいておりますので、よろしくお願いたします。なお、委嘱状につきましては、本来ですと市長から皆さんに直接交付というところがございますが、時間等都合があるということで大変申し訳ありませんが、お手元の方に配付させていただいておりますので、ご了承いただければと思います。

また、引き続きの委員さんのお願いとしておりますが、異動等もありまして、委員さん6名の方が代わられております。本日の資料にあります名簿をご覧ください。異動となられました委員のご紹介を事務局からさせていただきます。名簿で言いますと、上から9番目農業協同組合いわみ中央本部から出ていただいております佐々木委員さんから松原啓二様に代わられております。よろしくお願いたします。続いて、その3つ下になりますが、浜田青年会議所から森脇様に代わられまして名田勝之様に委員に受けていただいておりますが、名田様は本日ご欠席と伺っております。続いてその下になります、女性ネットワークの方から新田様に代わりまして高橋晴美様に出ていただいております。続いてその下になります、連合浜田地区会議から須堯様に代わりまして永田静香様に出席いただいております。続いて、一つ飛びまして金城自治区地域協議会から金口様に代わりまして宮本美保子様に出席いただいております。最後に3つ飛びまして、三隅自治区地域協議会から木村委員さんに代わりまして石田義生様にご出席いただいております。以上6名の方に代わられて本日の審議会となっております。よろしくお願いたします。また、市側の出席者につきましては、名簿の裏側に出席者名簿を付けておりますので、こちらでご確認いただければと思います。なお、本日石本教育長は、所用のため欠席とさせていただきます。よろしくお願いたします。

本日の出席委員様の確認でございます。この審議会につきましては25名の委員様に出ていただくということになっておりますが、本日、JFしまねの渡邊様、先ほど言いました浜田青年会議所の名田様、そして、Iターンからの公募ということで出ていただいております柿元様、3名の方がご欠席と伺っております。審議会条例で定めております会議の開催においての過半数を満たしておりますので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

最後に議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。資料につきましては先般送らせていただいているところですが、ご確認の方よろしくお願いたします。まず、本日のレジュメ、審議会委員の名簿、[資料1](#)3つの計画の進捗管理についてという資料、[資料2](#)の総合振興計画の進捗状況の資料、[資料3](#)として定住自立圏共生ビジョンの進捗状況の資料、[資料4](#)として総合戦略の進捗状況の資料、[資料5](#)として浜田市の人口における社会増減の状況、最後に[資料6](#)として総合振興計画の進捗評価について、という資料を事前に送らせていただいております。資料について、本日手元に持っていないという方がおられましたらお知らせいただければと思いますが、よろしいでしょうか。資料の確認については、以上となります。

そうしますと、議題の方に入っていただければと思います。

議事につきましては、会長の方で進めていただきたいと思います。

#### 議題

- (1) 総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について
- (2) 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画及び浜田市定住自立圏共生ビジョンの進捗状況に

<p>ついて</p> <p>(3) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について</p> <p>(4) 第2次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について</p>	
<p>会長</p>	<p>それでは議事を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。本日の議題は、それぞれの議題が相互に関係しておりますので、まずは議題(1)～議題(4)まで一括して事務局からご説明いただくことになっております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>政策企画課長</p> <p><b>資料1</b> 説明</p>	<p>失礼します。そうしますと議題の方、説明させていただきます。私の方からまず、資料1の総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について説明させていただきます。</p> <p>資料1をご覧ください。資料1につきましては、これまでの審議会におきましてもお示しさせていただいておりますが、本日ご意見をいただく3つの計画の進捗管理について纏めさせていただいております。総合振興計画の進捗管理につきましては、今回ご意見いただくのは4年目ということで、4年目の進捗評価をまとめておりますのでそちらをご確認いただきます。2番目の定住自立圏につきましても、総合振興計画と合わせて策定しておりますので、同じように4年目ということで、これについても内部評価をまとめております。定住自立圏共生ビジョンにつきましては、総合振興計画の計画を32項目、全く同じものを引き継いだ形での進捗評価となっておりますので、この後それぞれの進捗評価についてはご説明させていただきますが、定住自立圏については総合振興計画と全く同じ評価ということから説明等、詳細は割愛させていただこうと思っております。</p> <p>また、3番目の総合戦略については、総合振興計画よりも1年早く計画を策定したということがございますので、今回5年目の進捗評価をさせていただいております。総合戦略につきましては、昨年の審議会では今後の総合振興計画後期基本計画の計画期間を合わせるということをご審議させていただいて、2年間延長するというところで決定させていただいております。5年目の進捗評価について、本日ご意見をいただくところですが、7年となっている計画のうち、当初5年間であったということで、中間報告での5年評価というものをまとめておりますので、後で説明させていただこうと思っております。</p> <p>裏面をご覧ください。4番の進捗管理体制については、内部体制として人口減少対策本部会議という市長トップの会議で進捗管理等させていただいております。外部体制としまして、本日の審議会委員さんからのご意見等いただくということで進捗管理を行っております。</p> <p>最後に5番目の進捗管理・総合戦略項目追加スケジュールということで、スケジュールを載せさせていただいております。青字と赤字で分けておりますが、まず、赤字で書いてあるものにつきましては、本日ご意見をいただく進捗管理のスケジュールになります。本日の第1回審議会で、ご意見を伺った後、議会等にもご意見をいただく中で、進捗評価をまとめていくスケジュールで考えております。</p> <p>また、青字のところにつきましては、昨年「2年間延長させていただく」という中で、特に人口減少に特化した施策を戦略に追加していくということをお話させていただいております。その戦略に追加していく項目を現在内部でまとめておりますけれども、そちらもまとめていただいた後、11月の中旬という所で、もう一度審議会を開催させていただいて、総合戦略に追加していく項目のご意見を伺いたいということでスケジュールを載せさせていただいております。その審</p>

	<p>議会を経て、同じように議会の方にもご提案させていただいてご意見を伺っていくという流れで、今回の審議会を考えておりますので、ご確認いただければと思います。資料1については以上になります。</p> <p>そうしますと、資料2からの進捗状況につきまして、係長の方からご説明をさせていただきます。</p>
<p>政策企画課 企画係長 資料2説明</p>	<p>こんばんは。政策企画課の企画係長であります道山と申します。私の方からは、資料2から資料5までの説明の方を一括で行いたいと思います。</p> <p>始めに資料2の「第2次浜田市総合振興計画前期基本計画 掲載目標の進捗状況」をご覧ください。</p> <p>今回4年目に当たる令和元年度の139項目の実績につきまして、進捗状況の内部評価を行った資料になります。「目標」の進捗状況が書かれた表の一番下が、項目数139項目となっておりますが、昨年度145項目だったものが6項目減っております。そちらの減っている理由につきましてご説明したいと思います。</p> <p>資料の7頁をご覧くださいと思います。「はまごちツープライス料理提供食数の増加」という項目でございます。昨年度までは1,400円と2,800円の2本立ての料金体系をそれぞれ進捗管理しておりましたけれども、昨年から3,000円の料金体系に一本化したことに伴いまして、進捗状況についても、一つにまとめさせていただいておりますので、1項目減った要因となっております。</p> <p>続きまして9頁をご覧くださいと思います。</p> <p>まず、一番上の「健康寿命（男女別）の延伸」につきましてです。こちらの男女別の2本立ての評価、そしてその下の「がん年齢調整死亡率の減少（人口10万人当たりの年間死亡者数）」の項目、その下の「全がん75歳未満の年齢調整死亡率」男女別の死亡率の3項目、合わせて5項目につきましては、コロナウイルスの影響によりまして2019年度の数値が出ていないということで、今年度の進捗が出来ておりません。以上、コロナ関連の5項目と、はまごちの1項目を合わせた6項目が今年度の進捗が出来ていないということでございます。</p> <p>それでは、表紙に戻っていただいて、昨年度の実績を説明させていただきたいと思います。「目標」の進捗状況をご覧くださいと思います。一番下ですが、A評価となっている項目が60項目、B評価となっているものが41項目、C評価となっているのが32項目、D評価が6項目、E評価につきましてはありませんでした。これから詳細の説明をさせていただきますが、説明につきましては、昨年より進捗評価を落としたもの、そして特記事項があるものについて説明の方をさせていただきます。</p> <p>それでは3頁をお開き下さい。一番上の項目でございます。「どんちっちブランド加盟業者数の増加」ということで、新規の加盟業者が無く、取扱事業者が増加に至らなかったことからB評価からC評価に評価を落としています。今後、荷捌き所が高度衛生管理型となることから安全・安心なブランド魚としてPRを行い、加盟店の拡大を目指すこととしております。</p> <p>続きまして4頁をお開き下さい。「認定農業者数の新規認定数の増加」についてです。こちらにつきましては、昨年度新たに5経営体が認定されておまして、目標値を達成しております。2020年度以降、目標値をこれまでの目標値から上げまして、23経営体に上方修正して取り組むこととしております。</p> <p>続きまして、5頁をお願いします。一番上にあります「森林経営計画に基づく原木生産量の増加」でございます。2018年度の進捗状況を赤字で修正させていた</p>

だいておりますが、実績値が誤っていたということで修正をさせていただいております。2018年度の実績は、26,979 m<sup>2</sup>が正しいものとなっております。

続きまして、6頁をお開き下さい。「クルーズ客船の寄港回数の増加」の項目でございます。日韓関係の悪化により、韓国発着のチャーター船が寄港を中止したため実績が減っております。評価もBからCに落とさせていただいております。

続きまして、17頁です。「石中央文化ホール利用者数の増加」という項目でございます。こちらは、新型コロナ感染予防対策の観点から施設利用のキャンセル及び自主事業のキャンセルをしたことにより、利用者数が減ったことからB評価からC評価へ評価を落とさせていただいております。

続きまして19頁をご覧ください。「ごみのリサイクル率の増加」の項目となっております。2018年度のごみの分別変更以降、資源ごみの排出量が減少しております。評価をC評価からD評価に落とさせていただいております。

続きまして、20頁をお開き下さい。「県道改良促進」の項目になります。昨年度目標値を8路線11工区にし、上方修正としてあげておりましたが、実は下方修正になるということが判明しまして、当初の目標値であります7路線8工区に直させていただいております。合わせて2018年度の実績値についても、誤りがあったことから、正しくは9路線14工区として修正させていただいております。

続きまして、21頁をお開き下さい。「市道白砂1号線道路改良」の項目です。こちらは、2018年度実績を修正させていただいております。正しくは82%の進捗率ということで修正させていただいております。

続きまして、22頁をお開き下さい。「予約型乗合タクシー1便あたり利用者数の維持」という項目になります。自治区ごとや路線ごとでは増加しているところもありますが、一部路線で利用者数が減少しており、A評価からC評価に評価を落とさせていただいております。

続きまして、26頁をお開き下さい。「防火講話・消火訓練実施回数の増加」の項目になります。新型コロナの影響で訓練指導を中止した影響を受けまして、A評価からC評価に落とさせていただいております。

続きまして34頁をお開き下さい。「楮新規植栽面積の増加」という項目になります。こちらは2019年度に0.3ha増加しまして、目標を達成することができております。2020年度以降につきましては、目標値を2.9haに上方修正して取組みを進めることとしております。以上が資料2の総合振興計画の進捗状況につきまして、説明をさせていただきました。

#### 資料3 説明

続きまして、資料3でございます。浜田市定住自立圏共生ビジョン 掲載目標の進捗状況についてですが、こちらの資料につきましては、先ほど、課長から説明がありましたが、全ての項目を総合振興計画の方から転記する形で作らせていただいておりますので、進捗内容についても同じになっております。個別の項目につきましては、総合振興計画と重複することから、こちらは省略させていただきたいと思っております。

#### 資料4 説明

続きまして、資料4でございます。浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 掲載目標の進捗状況になります。こちらの計画ですが、計画期間は昨年、総合振興計画に合わせる形で2年延長させていただいておりますので、平成27年度から令和3年度までの7年間ということになっております。今回が5年目の進捗評価ということになります。この度は2019年度の単年度の取組みに対する評価と、当初

の計画期間であった5年間の終了時点での評価ということで、2つの評価をさせていただきます。

まずは単年度、昨年度の取組み評価について、ご報告させていただきます。表紙の方をご覧ください。昨年度の実績としましては、「基本目標」が7項目ありますが、B評価が2項目、C評価が4項目、D評価が1項目となっております。

続きまして「重要業績評価指標（KPI）」が52項目ありますが、このうち、総合振興計画と重複する50項目については、評価も同様の記載となっております。こちらの進捗状況につきましては、A評価が29項目、B評価が11項目、C評価が12項目でD・Eについてはありませんでした。全体の項目数は、53項目から52項目に減っておりますが、総合振興計画でもご説明させていただきました、ツープライスの価格設定の変更でございます。

3頁をお開きいただきたいと思っております。進捗状況の表につきましては、総合振興計画と同じような表となっておりますが、先ほどご説明させていただきましたように計画を2年延長することに伴いまして、2021年度の目標値というものを策定し、追加させていただいております。最初に単年度の進捗評価をご説明させていただきますが、黄色の2019年度現状値と進捗評価という所を見ながら、また下にある【進捗状況】と【今後の取組み】が単年度の進捗状況の内容となっておりますので、そちらをご確認いただけたらと思っております。総合戦略につきましては、総合振興計画と重複している項目が50項目ありますので、ここではKPI独自項目の6項目について説明させていただきたいと思っております。基本目標の7項目につきましては、後ほど5年の総括で説明をさせていただきたいと思っております。

それでは独自項目の実績報告ですが、14頁をお開きいただきたいと思っております。「交流機会の創出」という項目です。コロナウイルスの影響でリレーマラソンと北前船フォーラム等中止になりましたが、開府400年の記念式典、関連イベントの実施もありまして、A評価となっております。

続きまして21頁をお開きいただきたいと思っております。「公民館におけるふるさと郷育の実施数」の項目になります。昨年度は105事業実施しまして、一昨年度に引き続きA評価ということにさせていただいております。

続きまして表紙裏に戻っていただきまして、総合戦略の当初計画期間5年間で終了したことによる5年間の取組み評価でございます。5年間の実績といたしましては、基本目標としましては、B評価が2項目、C評価が4項目、D評価が1項目となっております。KPIの進捗状況につきましては、A評価が28項目、B評価が13項目、C評価が11項目となっております。

3頁をご覧くださいますと、5年間の進捗評価につきましては、表の青色部分、「2019年度目標値」と「2019年度現状値」を比べ、右側の青色部分「5年間の進捗評価」を入れております。下の方には、【5年間の主な取組み】と【5年間の評価】についても文書で入れさせていただいておりますので、確認いただきたいと思います。総合戦略の進捗については以上でございます。

#### 資料5 説明

続きまして、資料5の「浜田市の人口における社会増減の状況」について、ご説明させていただきたいと思っております。1頁の「5年間の人口の推移」ということでまとめさせていただいております。こちらは、住民基本台帳による推移を、1頁では1月から12月で見た場合、2頁では4月から3月の年度の期間で見た場合でまとめさせていただいております。人口の推移につきましては、年度末の3月、4月のところで転入転出が多い時期ということもありますので、3月と4月どちら



で見るかという所で大きく数値が変動するという事で、社会増減の推移については、1頁の1月から12月の期間でご説明させていただきたいと思っております。

浜田市全体の「年間人口増減」につきましては、昨年と比較して減少数が168人減りまして、マイナス998人の減少という結果になっております。過去5年の平均がマイナス834人ということですので、大きく上回り、最も大きかった平成29年を抜き、悪い数字となっております。

また、その内訳になりますが、「社会増減」につきましては、平成30年度に比べますと減少数が68人増えまして、397人の減少、過去5年間で333人の減少ですので、比較すると大きく上回る数値を示すこととなります。内訳として、転入については平成30年より32人減ったという結果になっておりまして、5年間平均の1,856人と比べましても70人下回っております。平成29年に続くワースト2位となっております。転出につきましては、平成30年よりも36人増えまして、2,183人。5年間平均値が2,190人となっておりますので、それに比べれば少ないという結果になりますが、過去5年間で見ますとワースト2位という数値となっております。

続きまして、「自然増減」につきましては、平成30年より減少数は100人増えまして、マイナス601人の減となっております。5年間の平均が501人となっておりますので、令和元年度は最も悪い数値を示したことになります。出生数につきましては、平成30年よりも52人少なくなっております。5年間の平均値が388人ですので、それよりも49人下回っております。平成28年を抜いてワースト1位です。死亡数につきましては、平成30年より48人増えまして、940人となっております。5年間の平均値が890人ですので、50人上回るということで、5年間で最も悪い数値を示しております。

改めて、表全体を見ていただきますと社会増減につきましては、平成28年の特異な年もありますが、大体330人位の減少の年と、400人位の減少の年が交互にやってくるという状況となっております。

自然増減につきましては、減少数が年々拡大しているということで、全体の減少を拡大させる要因となっている状況でございます。

続きまして、3頁をご覧くださいと思います。こちらは、転入転出の理由別の状況を載せさせていただいております。こちらの数字につきましては、県が移動の際に行っております人口移動調査を基に作らせていただいたものです。先ほど見ていただいたものが住民基本台帳の数字となっておりますので、数字が若干異なっておりますので、その点ご注意くださいと思います。

理由別の社会増減数で見ますと、「就職」による社会増減数が平成30年と比較して129人から102人のマイナスと、減少数が少なくなっております。逆に「転職」「就学」「住宅」「同伴者」につきましては、平成30年と比べますと令和元年度は減少数が増えまして社会減の要因となっております。

続いて4頁の棒グラフをご覧ください。他の自治体との転入転出の状況を示したのになります。平成30年と令和元年度を比べますと、県内転入は、転入者数は平成30年の703人から令和元年度697人と6人の減少でほぼ横ばいとなっております。同じく県内の転出は、814人から812人と2人減ということで、こちらもほぼ横ばいとなっております。

そんな中で、下の棒グラフを見ていただきますと、県外転入者数を見ますと1,087人から1,060人の27人減少。そして、県外転出者数は1,221人から1,300人と79人増加したということになっております。令和元年度と平成30年度の社

会増減数を比較しますと、県外への転出数の増が社会増減数の大幅な減少の要因となっているのではないかという結果になっております。

次の5頁からは、総合戦略の当初5年間を計画したということから、5年前の平成27年と令和元年度の転出転入の状況を比較したものになります。5頁が転入、6頁が転出という状況になっております。転入転出とも5年前と比較して年代、理由別の傾向はあまり変わっていない状況です。ただ、年代の数で見ますと、転入数はほとんどの年代で減少しております。転出数につきましては、年代によって変わりますが、20歳から34歳という若い世代での転出者数が増加している状況です。最後7頁でございますが、主要都市の人口動態の状況を比較したものになりますので、参考にご覧いただきたいと思っております。以上が令和元年度の社会増減の状況でございます。

続いて、総合振興計画及び総合戦略の単年度の進捗評価ということで説明させていただきます。資料6をご覧ください。

まず、総合振興計画の進捗評価です。今回4年目の進捗状況についての検証を行っておりますので、その総括ということで説明させていただきたいと思っております。

この資料でご説明する内容につきまして、3頁に【表1】【表2】ということで項目を集計した表を付けさせていただいております。その表と併せて説明を聞いていただければと思います。

まず、1番目として、実績値がどのくらい目標値に近づいたかを示す【表1】になります。目標に対してどのくらいの割合で近づいているかを評価しております。75%以上の達成率となっている項目は、昨年度と比較して若干伸びを示しているという結果になっております。また、50%未満の達成率という項目については、昨年度と比較して減っているということで、改善がみられます。特に地域振興部門の項目については、順調な進捗等がうかがえますが、依然として計画策定時の数値を下回る結果という項目もまだ多く見られるということから、更に要因等分析して達成に向けた取組みの見直し等、検討していく必要があるとまとめております。

続いて2番目、目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうかを示す【表2】を一緒にご覧ください。これについては、担当部署が目標に対して計画どおりに進んでいるかというABCの内部評価で示したものを載せております。

こちらにつきましては、昨年度「A」から「B」に評価を下げた項目が多くみられるということで、一昨年度と変わらないというような結果になっております。計画の順調さを欠いた項目については、残り2年で順調に進めるよう検討する必要があるというまとめをさせていただいております。

続いて3番目です。総合振興計画の基本構想で掲げております「人口」・「出生数」・「社会増減数」、この3つの基本指標についての結果をまとめております。

昨年度末と比較させていただいても、人口減少数というものは3月のコロナの影響等もあって、一見すると減少数が減っているようにみられますが、先ほどの人口増減の表にありました、1月から12月の表で比較しても非常に大きくなってきていることがあり、引き続き何らかの対策をしていかなければならないと考えています。「社会増減数」につきましても、コロナの影響により転出者数が一見減少しているように見受けられますが、やはり転出者数、特に若い人が突出している状況が、計画当初より多くなっている状況から厳しい状況は変わらないもの



と推察されるとまとめをさせていただいております。

社会増減については、大きく改善しているということはありますが、今後、平成 29 年の減少数と並んで過去 5 年で最も減少しているという状況もありますので、こういったことへの対策が、今後必要であるということでまとめております。

また転出の理由につきましては、就職という所が一番多いということになっておりますので、地元企業への就職者数の増加に向けた施策が必要で、そのためにも地元企業の魅力化、或いは職場環境の整備に向けた施策といったものへ引き続き取り組んで行くといったことと合わせて、地元の方へのふるさと郷育、或いは地域活動の参画といった面から、地元に残りたいと思える施策にも取り組む必要があるということでまとめております。

続いて、自然増減で見ますと出生数が減少傾向ということは引き続きしております。過去 5 年間で最も少ない数になっております。特に子供を産んでいただく若い世代の女性の減少といった所に歯止めがかかっていないということが要因の一つであろうと考えております。若い世代の女性が浜田に住み、産み育てたいと思っただけの施策への取り組みが必要であろうということをもとめております。

人口減少につきましては、短期的に改善することは難しいですが、長期的な展望を持って総合的に施策を進めていくことは必要ですし、新型コロナウイルスといったことから東京一極集中の是非が問われ、地方への移住といったことも言われております。そういったことで、新たな生活様式への対応、施策の見直しが必要となり、コロナ終息後の状況を見据えながら、来年度以降の後期基本計画に定めていくこととし、反映させていくといったことで最後のまとめをさせていただいております。また、それに合わせて、今後も毎年進捗管理を引き続き行っていくことで総合振興計画の総括をさせていただきます。

続いて、浜田市総合戦略の進捗評価をご覧ください。先ほど説明させていただきましたが、総合戦略は 2 年延長しまして 7 年間ということにしておりますが、当初は 5 年間の計画であったということから、5 年間はどうであったかということを中心報告として資料の中でまとめをさせていただいております。

「目標人口」につきましては、総合戦略の中に掲げている概要にありますのでご確認ください。総合戦略におきましては、基本目標を 4 つほど設けさせていただいております。5 年間でその基本目標がどうであったかを「基本目標の進捗状況」の方でまとめておりますので、少しご説明させていただきます。

基本目標 1 につきましては、産業振興と企業立地による雇用の創出ということが目標になっております。基本目標 1 の中には 4 つの目標を定めており、「宿泊客数」、「合宿等誘致人数」、「企業立地優遇制度による雇用創出数」、「新規学卒地元就職者数」の 4 つの表について、2014 年度を基準にどのような数値を辿ってきたのかを示しております。

この 4 つの目標達成については、現在非常に厳しい状況となっております。

宿泊客数や合宿等誘致人数については、自然災害、或いは昨年度末の新型コロナウイルスの影響もあって特に落ち込みが大きくなっております。

また、企業立地については、第 1 次産業誘致で成果は上がっているものの、雇用創出数は目標の半分以下に留まっている状況です。

地元就職者数についても少子化による学生数の減少から、また全国的な人手不足の状況が続く中、競争力の高い都会地での求人も多くなり、地元就職者数の確保が困難になりつつあるということでまとめをさせていただいております。

続いて基本目標 2 としまして、子どもを安心して産み育てる環境づくりということで、目標を出生数としております。先ほどから出生数が年々減少傾向にあるということで、この表の中でもまとめておりますので見ていただければと思います。

出生数につきましては、昨年、当初の目標を達成することは難しいということで、目標値の下方修正をさせていただいたところですが、更に減少しているという結果となっております。子どもを産み育てる世代の絶対数が減少しているということも大きな要因と考えておりますので、そういったことへの施策が必要であろうと考えております。

続いて基本目標 3 は、U・I ターンや定住の促進とふるさと郷育の推進を目標としております。目標値としましては、社会増減数を目標とさせていただいております。社会増減数も先ほどから説明させていただいたように、減少幅がその年によりまちまちということもありますが、コロナ等の影響により多少縮小しているといった結果となっております。しかし、5 年間平均でもマイナス 329 人ということで、計画策定時より悪化しているということもあり、今後はそういったところも見据えて対応していかなくてはならないと考えております。

最後に基本目標 4 として、地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくりということで、地区まちづくり推進委員会の組織化を目標値としております。

まちづくり推進委員会については、組織化が終わっていない地域は浜田自治区のみとなっております。当該地域については、地縁による関係が弱く、地域課題の顕在化が小さいため設立が進まないといったところですが、5 年間で新たに 7 地区の地区まちづくり推進委員会の設立に至っているということで、まとめをさせていただきます。

続いて、次頁の「取組み結果の検証」でございます。当初の計画であります 5 年間を経過した時点での目標人口達成の総括につきましては、合計特殊出生率、社会増減数について、目標を達成するには非常に厳しい状況ということでまとめております。合計特殊出生率、社会増減数の策定時と現状値につきましては、表にまとめておりますのでご覧いただければと思います。

先ほど、進捗評価の中で説明をいたしました、総合戦略の中でまとめております項目については、A 評価、B 評価といった所で順調に進んでいるということになっておりますが、宿泊客数、出生数、社会増減数等基本目標としている項目につきましては、A 評価は無いという状況になっておりますし、最も良い評価でも B 評価に留まっているという結果となっております。

この取組みの成果につきましては、基本目標に対して、大きな影響を与えることができなかったことが要因ではないかということでまとめをさせていただきます。

最後に「今後の取組み」ということで、3 点ほど掲げさせていただいております。まず検証等を踏まえまして、説明をさせていただこうと思います。

総合戦略につきましては、残り 2 年間という状況になっておりますが、国や県においても重点施策として取り組んでおります社会増減の減少が最も大きい 19 歳から 35 歳にターゲットを絞りまして、今年度からの 2 年間「若者が暮らしやすいまちづくり」をテーマに掲げて取組みを進めていきたいと考えております。

続いて 2 番目の「新たな生活様式に対応した取組み」についてです。新型コロナウイルスにより、社会生活は大きく変わり、東京一極集中の是正の考えのもと、大都市から地方への人口分散の動きが出ているところですが、そうした波に乗り

	<p>遅れないためにもテレワーク等場所にとらわれない働き方、或いは I C T 環境整備など「新たな生活様式」に向けた基盤整備等についても取組みを進めていきたいと考えております。</p> <p>最後に「社会減の要因分析」についてです。目標を掲げて進めている施策については、引き続き取組みを進めてまいります。基本目標、特に出生数、社会増減数を目標に近づけるための施策について、再検討が必要であると考えており、令和 4 年度からの総合振興計画後期基本計画、その中に含める総合戦略の策定に向けましても転出者へのアンケート実施や社会増減の要因について、しっかりと調査・分析を行いまして、その結果を踏まえた施策の立案に取り組んでまいりたいと考え、このようにまとめをさせていただいております。</p> <p>長い説明となりましたが、本日お配りさせていただいた資料につきましては、以上でございます。</p>
<p>質疑応答について</p>	
会長	<p>はい、ありがとうございました。これから質疑応答に入っていこうと思いますが、説明は一括してお願いしたけども、まずは、総合振興計画に関わる資料 2 について、割愛の説明がありました定住自立圏については全て重複をしておりますので置いていただいて、総合振興計画に係る資料 2 について、昨年度から部門別にご意見を伺ってまいりましたので、部門別で行ってみましょうか。</p> <p>まずは、産業経済部門について何かご質問意見がありましたらお願いします。</p>
高橋委員	<p>今回が初めてなので単純な質問かもしれませんが、どんちっちブランド加盟業者数の増加というのがありますが、2018 年度に目標値を上方修正となっております、当初の目標が 140 店舗だったのですが、この業者全体の数がどのくらいあるのか。140 店舗というのは全体の何パーセントに当たるのかというのがよくわからないです。162 店舗にしたけど 2018 年度、2019 年度は 143 店舗で増えなかったという結果だと思うのです。これに似たようなものとして「はまごちツープライス料理提供食数の増加」の加盟店舗も当初よりも減少しているのではないかと思うのですが、その加盟店舗数というのが見えてこないの、全体の何パーセントぐらいの加盟があるのかわからないので、そういうことが書いてあるとわかりやすいと思いました。</p>
会長	<p>はい。ありがとうございます。その方が分かりやすいというご意見ですが、事実確認といえますか、データをお手元にお持ちでしたら事務局の方からお答えいただけますでしょうか。</p>
産業経済部長	<p>まず、どんちっちブランドの加盟店ですが、現在 143 店が加盟店となっておりますけれど、その中には卸売業、小売店、料理店、加工業者、そして県外業者がございます。約 1/3 は県外業者に加盟いただいております。従って、今ご質問いただきました分母はいくらかというご質問については、お答えできないのですが、全体的には県外業者が 1/3 おられて、あとは市内の業者だということをご理解いただければと思います。</p> <p>はまだツープライスは、利用者さんのご意見をいただきまして、方針を変更して 3,000 円以下の商品とすることで組み立てております。事業者数ということですが、前の項目「浜田の五地想ものがたり協賛店舗数」にあります 36 店舗が業者数になります。</p>
会長	<p>はい。よろしいでしょうか。</p> <p>続いて、佐々木大輔委員から手が挙がっておりますので、どうぞ。</p>

佐々木大委員	<p>全体に係るところで大事なことを確認させてください。</p> <p>この評価期間というのは、2020年3月までであってますでしょうか。</p> <p>まず、コロナの影響というのは、今年の4月以降の方がはるかに大きいと思っています。評価のコメントの中で色々書いてあるのですが、コロナの数は今年度の方があるのかなと思っていますので、数字がどうなのかなと思っています。それが事実としてあるということと、今は政権が代わって国の動き方も変わっていく中で、強いメッセージとして、例えば「デジタル化」がでていていると思うのですが、そういった社会情勢を含めた今後の取組みが具体的に書いてあるのかが分からなくて、それについてどういう視点で書かれているのか、教えてください。</p>
地域政策部長	<p>ありがとうございました。今回の分析・検証というのは、これまでの立てた計画がどうであったかをお示ししたところであります。ただ、その進捗がA評価、B評価で追っても、実際に人口が増えていかなかったということで見直しをしようということを考えています。具体的な見直しの方法については、改めて追加する要素などを次の審議会でお諮りしようということで、今ご指摘の部分はそこでお示しできるとしています。その中には、この中にも記載していますように新たな生活様式に対応する上で、当然デジタルの有効活用ということも出てきますので、そういったものを見据えた高度情報基盤を推進する事も入ってくる予定になっています。</p>
玉置委員	<p>高橋さんの質問の続きになりますが、6頁「浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加」という項目になります。ここは非常に詳しい目標値、現状値が出ていますが、私は分かりにくかったです。下の進捗状況と今後の取組みの文書を追っていったのですが、「その結果新たに7店舗が加盟した。3店舗が廃業等を理由に退会したので、5店舗の増加だった」これ、7から3を引いたら4で4店舗の増加になると思うのですが、なぜ5店舗なのか。こういう所に、引っかかりました。この文書からは読み取れないですね。これを説明していただきたいこと、それからこれまでも審議会で評価の方法について申し上げてきましたが、こういう店舗数、参加人数など数字で押さえるということは、それなりに一つのやり方としてあると思いますが、そこで漏れている内容、市内のサービス業や飲食店や一般の小売店に広く申し上げたいのですが、私たちはおもてなしが大事だと叫ぶ割には、ちょっとおもてなしが足りないといえますか、あまり愛想が無いお店もあるのですね。そういう内容からいっても、もう少し底上げしたほうが良いなということも、ここには出てこないの、数字を押さえると同時にそういう顧客の声も広く取り上げて、おもてなしというサービスのやり方を事業者の方に上げていただきたいと思います。</p>
産業経済部長	<p>確かに私の手元にも、7店舗と3店舗の差が4店舗になっていますので、ここは修正させていただきます。</p> <p>それと、おもてなしの指摘について、しっかり研修といった所で努力させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>なかなか数字に表れないものをどのように評価していくかということは、難しい問題であって、あらゆることをここで評価することは、それこそ混乱することになりますので、今後の課題ということにさせていただければと思います。</p> <p>その他、ございませんでしょうか。</p> <p>部門別に区切ってまいります。健康福祉部門で何かございませんでしょうか。8頁からになります。</p>

	<p>お気づきの点がありましたら申し出いただきたいと思います。          続いて、教育文化部門、14 頁からになります。いかがでしょうか。</p>
宮本委員	<p>9 頁の健康づくりの推進というところですが、はまチャレの事業計画を市の方で推進されて 2 年目になると思いますが、その件で健康増進への取組みの評価が良くなっているのかということをお教えいただきたいと思います。それからコロナの影響で 2019 年の達成率が入っていないものがありますが、これは出ないのでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>健康福祉部長をしております猪木迫といいます。よろしくお願ひします。          はまチャレにつきましては、始めて 2 年目ということで、すぐに効果が出てくるのかといいますと難しいこともあり、参加者を増やすということに力を入れているところです。          2019 年度の目標値と現状値というところで、最初に説明がありましたようにコロナの影響で、この数値は全て国の数値を持ってきておりますので、数値がまだ公表されていないことで、現状値と達成率が出ていない状況になっております。</p>
宮本委員	<p>はまチャレで結果が出てこないというのは分かっております。何年かを想定して出せるものだと思うのですが、前年度に比べて今年度のはまチャレの人数的なところは前年度と比べて、今年度は上がっているのでしょうか。</p>
健康福祉部長	<p>今年度は、減っております。参加者が減っている状況です。実際歩いておられる方はいらっしゃるのですが、3 密を避けることもあり、取組みが難しかったということもあると思いますが、はまチャレとして運動している人が減っているのでしょうか、初めの年に比べて若干応募者数が減っています。</p>
宮本委員	<p>3 密は「お出かけ」のところしかかからないと思います。朝ごはんウォーキングと体操は個人的にできるもので、せっかくいい取組みをされているので沢山の人が応募されるように推進してもらいたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。では、少しずつ頁を送っていただいて、18 頁からの環境部門はいかがでしょうか。</p>
玉置委員	<p>先ほど宮本委員さんから「健康増進への取組み」ということがあり、スポーツの環境という点で 16 頁、17 頁の「生涯スポーツの振興」と「歴史・文化の伝承と創造」に関わると思います。          私が非常に感銘を受けておりますことを皆さんに知っていただきたいと思ひます。私は黒川町のプールを利用していますが、運営が非常に素晴らしいと思ひています。プールの名前を「福井誠記念プール」という風に名付けられて施設の改装をされて、利用者の利便性も向上したなと思ひています。宣伝もうまくなられたし、何が起きているのか存じませんが、運営が良くなったと感じています。          こういう事例が市の管理している施設でも起ってほしいと思ひます。利用者にアンケートを取って利用者の声をもっと広く聞いて、市の施設の運営体制に役立てるべきだと思ひました。浜田市のスポーツ施設は教育文化事業団が運営しているのですよね。ペアーレは全く違う団体だと思ひますが、そういういくつかの市のスポーツ施設、文化施設、教育施設を事業者や指定管理者がやっているのを一つのリストにして、定期的に利用者にアンケートを取って声を聞くべきだと思ひます。黒川町の水泳プール運営に感心していますので、是非皆さんにも知っていただきたい。こういうことをこの中に取り上げていただきたい。生涯スポーツの振興として、3 項目の評価がありますが、対象が狭い気がします。もっと幅広く取り上げてアンケートを取るべきだと思ひました。</p>

	<p>(質問が何かわからないので、端的に質問していただけますか)</p> <p>利用者の感じていることを取り上げるような評価項目を今後、考えていくべき言うのが私の質問の要素です。</p> <p>(評価項目を少し変えた方が良いのではということですか)</p> <p>そうです。私たちも初めて委員となって、こういう項目でいいのかなと思いつながら決めましたが、後期計画ではもう少し内容が取り上げられるような項目の設定を考えた方が良いという意味です。</p> <p>(そのことについては、恐らく次の2回目の会議での話になると思いますので、今はこの評価についての質問になると思います。)</p> <p>少し横に逸れてすみません。私は水泳プールを例に挙げて、利便性が向上した施設があるということをお伝えしたかったのです。</p> <p>(事例紹介している時間は無いので、お願いします)</p> <p>はい、すみません。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。問題提起としては、評価のあり方を今後考えていく必要があるのではないかと、ということでしたので、今後の課題としたいと思います。</p> <p>引き続き、順を追ってみていただきますと、19頁からの生活基盤部門になっております。</p>
賀戸委員	<p>すみません。19頁の「循環型社会の構築」に「市民一人あたりのごみ排出量の減少」とありますが、1か月ごとにまとめて量られての数字なののでしょうか。それと、ごみのリサイクル率の増加については、プラやビン・缶などの出し方が多くなったという数字なののでしょうか。</p>
市民生活部長	<p>市民一人あたりのごみ排出量の減少というのは、ごみの全体量は人口が減っていますので、ごみの全体量は減っています。ただ、総量を人口で割ると一人あたりの量は増えるということになります。これがどういった理由かということとは、把握しづらいのですが、一人あたりのごみを出す量を少なくしていこうという取り組みをしなければならないと思っております。</p> <p>それから、ごみのリサイクル率の増加というのがあります。ここは数字が悪くなっていますので、D評価になっております。実は、皆様ご存知だと思いますが、リサイクルするプラスチックごみや古紙、缶・ビンは、ひと月ごとに集計しており、市が収集したものは分かるのですが、スーパーや事業者など民間がトレーや古紙を回収している部分は、市では把握していない状況になります。そういったこともあり、市が把握する数字が少ないという気はしております。ただ、これに関しても、市が数字を把握していかななくてはいけないと思っておりますので、民間事業者にも協力を仰いで、民間で回収した量も把握し、市全体のリサイクル率を出すことを、今検討中でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。その他ございませんでしょうか。</p>
佐々木大委員	<p>23頁の「地域情報化の推進」という所の「各種システムのクラウドサービスへの切り替え」で2つ質問があります。</p> <p>まず、今後の取組みで「2020年度に住民情報システムのクラウド化を予定している」とありますが、今すでに、国から自治体のいろんな業務の標準化を義務付けするという方針が出ておまして、この予定というのはそれに準拠した形での対応を進めるということですか。</p> <p>もう一つは、今国が進めているデジタル化という言葉の本質は、「デジタルトラ</p>



	<p>ンスフォーメーション」といってデジタル基盤の上で業務を変えていきましょう、コミュニケーションを変えましょうという文脈の下で行う事業なので、単に IT の基盤整備をしましょうというだけではなくて、コミュニケーションを変えましょう、慣習を変えましょうという踏み込んだメッセージが出ていますので、DXにまで踏み込んだことを考えておられるか。この2点を質問させていただきます。</p>
総務部長	<p>まず、前段の部分ですが、システム化という所では国の方針に準拠していこうということです。後段のところは、少し整理が出来ていないところもありますが、やはりそういう方向で検討していかなくてはいけないだろうということで準備をしておりますが、関係部局も多くありますので整理をしていくという考えであります。</p>
会長	<p>その他ありませんか。 24 頁からが防災・防犯・消防部門になります。よろしいですか。 (意見なし) 26 頁からは地域振興部門が始まっております。</p>
高橋委員	<p>29 頁の「男女共同参画の推進」、私も女性ネットワークで男女共同参画から委託されたサポーターを務めさせていただいておりますが、女性ネットワークもだんだん人数や加盟団体が少なくなってきた、こういった審議会に出る人が固まってしまったというか、同じ人が兼務で何度も出るという形になっていきますので、若い子育て世代のお母さん方にも出ていただけたら良いのではないかと思います。「女性が住みよいまち、浜田」とか「若者が住みやすいまち、浜田」を言うのであれば、そういった方たちの意見も聞いていったらいいのではと思います。ちなみに、この審議会はまだ1名女性が入れば40%を超えます。</p>
地域政策部長	<p>ありがとうございました。男女共同参画でいうと、いろんな審議会の女性の割合を4割にしようという明確な目標があります。それに向けて女性の方の推薦などいろいろ取組みを進めておりますが、団体を通じて出ている方になりますと、どうしても若い方々が団体にも入っておられないということで、そこをどう掘り起こしていくのかは大きな課題だと思っております。ただ、若い人や女性の意見は参考にしていけないと、今まさにそういう年代の方が少なくなっているのが人口減少の上で一番大きな課題です。いろんなご意見を参考にさせていただいて、どんな取組みができるのか考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。よろしいでしょうか。 その他ありませんでしょうか。</p>
佐々木大委員	<p>度々すみません。27 頁のUIターンについては、このコロナ禍において、数少ない希望がある取組みができる項目なので、今後の取組みについてももう少し攻め込んだ内容にした方がいいのかなど。地方の方に人を流すということがありますので、浜田からも「はまだ暮らし」というものを打ち出した方がいいのかなと思えました。 もう一つ、28 頁の「大学との共同研究」について、研究の件数だけを追う形なので、共同研究の内容を受けどんな発展があったかを調べたのですが、分かりませんでした。この共同研究の評価がどういう風になっているのか、改めて教えてください。</p>
地域政策部長	<p>まず、UIターンのことで言いますと、確かに今、都市部でもコロナを非常に心配されて地方へという気持ちも向いている時期だと思います。この事業のカウントに入っていただくためにも、対策を打っていく必要があると思っております。元年</p>

	<p>度の指標ですが、今後の取組みでその辺りをしっかり打ち出していく必要があるかと思えます。</p> <p>それから、大学との共同研究については、件数を追っていくということですが、振興計画全体に件数を追っていくことが本当に評価につながっていくかということ、前々からご指摘をいただいております、先ほど玉置委員もおっしゃったように、どういうことが一番行動していくのにいいのか、改めて後期基本計画策定時には考えていかなければと思えます。この共同研究の評価については、実際に大学で研究していただいたことが、地域の中でそれを取り入れられて実践されているというものもありますので、本当は研究の中から実践につながった割合を示した方が分かりやすいかと思えます。</p>
岡山委員	<p>先ほど、高橋委員さんから子育て世代からの意見が、ということがあったので、戻ってしまいますが、10頁の「子供を安心して産み育てる環境づくり」の子育て世代包括支援センターというのが設置をされて、ずっとA評価できているところだと思っておりますが、進捗評価のところでそれでも子供の出生率が下がっているありました。昔に比べて初妊娠期を支えてくださる仕組みは、しっかり充実してきたと思うのですが、浜田市を見ると産婦人科医が減り、健診にも半日かけて行かないといけないということもあります。例えば2人産みたいけど、1人目で大変だったので2人目は…ということもあると思えます。産婦人科医を呼んでくる取組みをしていただき、妊娠出産のところを支える取組みをA評価から更に踏み込んで行っていただきたいと思えます。</p>
健康福祉部長	<p>ありがとうございます。産婦人科医については、いろんな取組みをしましたが、現状の中でどうやって取り組んで行くかが、今までの目標となっております。産科医を増やすというのは、直ぐにというのは難しい状況なので、やはり今の状況の中で、どこまでできるかということ頑張っているところです。産み育てるということで、今後もいろんな意見を聞いてどういったところがまだ不足しているのか、しっかり意見を聞いて、そこをできる限り増やしていく形でやっていきたいと思っておりますので、どんどん意見をいただきたいという所です。</p> <p>そういう気持ちで取り組んでおりますので、よろしくをお願いします。</p>
藤本委員	<p>私の方から、27頁の「人がつながる定住環境づくりの推進」の「Uターン者数の増加」で、常日頃からUターンとIターンを同じ考えで見るといけないというのが私の考えです。では、どうするのかということですが、例えばUターンというのはそれぞれのご家庭で積極的の取り組んでいただくものだと思うのです。逆にIターンというのは、私たちがやることはできないので、行政の方で検討していただくものであろうと思えます。よくUターンと一括して言いますが、私は分けて考えるべきではないかと思えます。こちらの市長さんもUターンです。私も子供がおりますので、何とかして帰そうと思って3年近くかけて説得し、今は帰っています。一気に4人増えました。UターンとIターンの、ものの考え方をここは区別していかないと、一括りでは難しいと思えます。</p>
地域政策部長	<p>ありがとうございます。Uターン・Iターンというのは、明確に相手の関わり方が違うというのは承知しております、これは昨年度の評価になりますが、今年度はUターンに力を入れようということでやってきました。そのために、ここを出ていく皆さん方に、つながりをずっと持ち続けてもらうことから、そういう方のLINEクラブを作ったり、そこに集中的に情報を流したり、或いは関係人口などに力を入れていこう、ということやってきました。これからも続けていき</p>

	<p>たいと思っています。一方でIターンの方は、「ふるさと」を持たない方というが多く、そういう方に響くような情報の届け方をし、都会から離れていても十分仕事ができる環境を整えることが重要だと思っていますので、今ご指摘があった点は、きちんと分けて政策を打ち出していきたいと思っています。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございました。少しスピードアップしていきたいと思います。29頁から自治区別の計画が記されております。何かございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それから35頁から「開かれた行財政運営の推進」になります。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、総合振興計画に係る進捗状況については終わらせていただいて、これに対する進捗評価というものが資料6にあります。これについて、何かご意見ありますでしょうか。</p>
佐々木玲委員	<p>資料6で、今後の取組みを見たときに、「若者が暮らしやすいまちづくり」をテーマに掲げて取り組むとか、基盤整備に取り組むとか、結果を踏まえた立案を目指すとあって、これまでも、「今後の取組み」に盛り込んだものがあって、更に進捗状況を見ていくのだろうと思います。「基本目標の進捗状況」の「基本目標1」のところに「少子化による学生数の減少から全国的な人手不足の状況が続く中、競争力の高い都会地での求人も多く、地元就職者数の確保が困難になりつつある」ということがあります。コロナが出てきて、今、日立製作所でも人員削減をするとか、ここに書いてある状況と違う状況になっている。</p> <p>話が前後しますが、子育てをしたい、子どもを産むといった時に、地域に雇用があって子供を産み育てていけるだけの経済力が必要となると、地元で雇用を創出しようとしても、地元企業に雇用できるだけの体力が無いと雇用できない。いい循環で回っていくためには地元企業を支援するための施策をやっていく。これがすべて連携して進捗状況の数値説明の時に、産み育てるために先ほどの産科医や医療体制を整えるということの進捗状況を維持するために、経済を回すためにこういう施策をやって、進捗状況はこうですよと連携して説明があればもう少し分かりやすいと思います。</p> <p>これが我々の求める、市民が求める何のための事業であり、それがどう進んで行って、滞っているからこの事業が進まないということを裏付けるような資料があって、進捗状況はこうですよ、だから市民はここを我慢してでもここが進むように頑張りましょうというような分かりやすい説明があったらと思いました。</p>
会長	<p>おっしゃることはおそらく、皆さん理解いただいていると思います。いろんなことが関連していて、ではそれをどう説明していくかというところが大変なことだということだと思います。戦略にしても総合振興計画の評価にしても、書きぶりについて共通すると思いますので、地域政策部長お願いできますか。</p>
地域政策部長	<p>今、言われたところは、戦略についてコメントをまとめた部分ですが、人口減少を食い止めようとする総合的な政策というのが必要です。当然働く場も必要ですし、そのための受け皿も必要です。ただ、働く場だけで人が増えるかという、そうでもなく、子育てなり、教育なり総合的に見ていく必要があると思っています。その中で、何が一番足りないかを分かりやすく説明してほしいということだと思いますが、今回の分析の中では、特に若い女性の方や若い世代の方の転出が止まず、出生率が1.77と前回より上がっても子供の数が増えていないという状況があって、そこを留めるためにどうしようかということを出そうとして</p>

	<p>います。今日のところは、具体的なことはお示しできませんが、次回の第2回では、この問題に対してどうして行くのかという具体的なものをお示し、意見をいただきたいと思っておりますので、次回を楽しみにしていただいて少し時間を頂ければと思います。</p> <p>(楽しみにしていいのですか。)</p> <p>厳しいですが、楽しんでやらなければいいことにならないと皆さんおっしゃいますので、そういった気持ちで続けていかなければと思っております。</p>
会長	<p>よろしいですか。まだご意見あると思いますが、続いて、まち・ひと・しごと創生総合戦略の独自項目についてご質問ありましたらお願いします。</p>
佐々木大委員	<p>最後の頁の「学校を核とした官民協働による地方創生プロジェクト」ですが、今後の取組みの内容に具体的なことが書いてないので、よくわかりません。わかる範囲で良いので、何をするのかを簡単で良いので教えていただけますか。</p> <p>魅力化アンケートをすると書いてあるのですが、実際浜田市は何をするのか、検討もまだしていない状況なのではないでしょうか。</p>
教育部長	<p>県のアンケートはやりますけど、市としての具体的な取組みの検討にはまだ入っていないというところです。</p>
佐々木大委員	<p>それは、第2回で示されるという認識でよろしいでしょうか。</p>
教育部長	<p>少し、考えさせてください。</p>
会長	<p>恐らく総合戦略と関連する資料として、資料5があるかと思えます。そちらの方について、何かありますでしょうか。</p>
玉置委員	<p>資料5の3頁「※島根県人口移動調査によるものであり、住民基本台帳の数値とは異なる。」ということですが、人口移動調査とは、どのようにして出ている数値なのではないでしょうか。</p> <p>もう一つは、5～6頁にグラフがありますが、5頁に「※15～24歳の就職による転入者は増加」、6頁は「※20～24歳の就職による転出の増加が大きい」。出るのも多いけど、入る方もいるという風にイメージしましたが、例えば15歳～24歳の就職で転入してくる方は、どういう職種で就職してくるのでしょうか。実情を説明していただけないでしょうか。</p>
地域政策部長	<p>まず、どうして異なるかということですが、この調査は県内移動を拾わないのです。他所から県に入られた方、島根県から他所に出られたかということで、県内の市町村の移動は拾いません。従って、県の人口移動調査と実際の移動が違うというのはその辺りの事になります。</p> <p>(この数字は、浜田市の数字ですよね)</p> <p>はい、浜田市に転入転出があった時に、アンケートに協力してもらいます。県の方が全体の移動状況を調べておりまして、それを各市が参考にしていくわけです。どうしてもアンケートでありますので、皆さんに協力してもらえないということもあり、そういう所で若干数字が違ってくるとことはあります。概ねの傾向はつかめますが、ぴったり住民票の数と合わないところがでてきます。</p>
政策企画課長	<p>15歳～24歳の転入、或いは転出者も同じような形で多かったというところで、どういった職業だったかということについてです。先ほど岡田部長が説明しました県の方がされている人口移動調査の中で、例えば3頁の「移動理由別」のように転勤・就職といった区分を記入していただくようになっています。それを基に移動区分や年齢の振り分けはできるのですが、どういった職業に就かれて転入したかというところまでは、この調査では求めていませんので分かりません。総括</p>

	<p>でまとめておりますが、どういった転出理由であるか、もっと具体的なことというのは、別途アンケートを取るという形でなければわからないということがあります。そういったことが、転出に対してどういった対策を取っていくかといったところで重要になってくると思います。今後、もう少し踏み込んだ形で分析できるようにアンケートを取るなどやっていきたいと思っています。どういった理由でされたかというのは分かりますが、どういった職業でとか、入学であっても大学なのか、ということまでは調査の中では出てきません。</p>
玉置委員	<p>分かりました。ただ、「浜田市には仕事が無い」と一般に言われます。でも実際に若い人が、仕事をしに来ていることに興味を持ちました。どういう業態で仕事に就かれたのかという興味で伺いました。また分かれば教えてください。</p>
会長	<p>時間に限りがありますので、資料6に戻って総合戦略の5年間の評価部分について、ご意見をお願いします。</p>
賀戸委員	<p>単純な質問ですが、40年後の人口がなぜ、何人まで出るのですか。 それと、「する。」とあるのですがどういう風にするのかを一言二言欲しいなと思います。ただ「出生率2.17を目指す」、ではどういう風に目指すか。それから「若者が暮らしやすいまちづくりをテーマに」、はどのような風なまちなのかというような書き方があれば喜びます。</p>
会長	<p>将来の人口については、そこにあるように国立社会保障・人口問題研究所の推計によるものなので、そこが出している数字になります。</p>
政策企画課長	<p>人口推計の数字は、会長からありましたように、国の方が全国の市町村の何年か先の人口を推計してくださっています。それを参考にうちも戦略を作っております。推計の仕方は色々あります。例えば、国勢調査の人口を参考に作られますが、調査が5年毎のため、その間にどういった社会増減の移動があったか、亡くなった方がどれくらいの割合でおられたか。そういったことを国の方でデータを集めて、社会的な要因を含め人口がこれくらいで推移するのではないかとといったことを計算して出されております。浜田市もそれを参考に、国の方ではわからない市の要因、或いはこういった施策を打って行こうということを入れると、社会増減は多少でも抑えられるのではないかと、数字の調整をさせていただいて、2040年には37,000人を切らないようにという推計を前回の戦略で出させていただいているところです。</p> <p>もう一つ、「若者が暮らしやすいまちづくり」につきましては、今後、若い人がどういった施策であれば増えるかを、戦略の追加で考えていくこととして、内部的に協議させていただいております。浜田市はどのようなまちなのか、ということも考えて戦略を作っていかなければならないと思っております。次回の審議会の中でお示しさせていただき、こういうことを目指しますということをご提案したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
地域政策部長	<p>少し補足をします。先ほどの人口増加数は目指す目標、ゴールになる指標です。戦略に掲げているものは、それを進捗していけばゴールの指標が見えてくるのではないかと、戦略を作っています。政策も総合的にやってきましたが、やっても結果が付いてこないという5年の振返りになりますので、もう少し絞り込んで、こういう所に集中した戦略が良いのかということを考えて、次回お示しするものです。そこで、若い人、若い女性が暮らしやすいためにどうしていくかを決めます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。さすがに時間が無くなりましたが、言い尽くせなかつ</p>

	<p>たことも委員の皆さんあると思います。そういうこともあって、机上に「総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン、総合戦略の進捗に対する意見について」ということで用紙を準備いただいております。これを11月4日までに事務局の政策企画課まで提出いただき、ご意見をお届けいただけたらと思います。</p> <p>なお、既に皆さんからいただいた意見については、事務局で調整いただいて次回の第2回審議会で報告いただきたいと思いますと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>ありがとうございます。続きまして、事務連絡を事務局からお願いします。</p>
<p>2 その他</p> <p>(1) 事務連絡について</p>	
<p>政策企画課 企画係長</p>	<p>失礼します。事務局の方から、何点か事務連絡をさせていただきます。</p> <p>まず1点目です。先ほど会長の方からご説明がありましたが、本日言い足りなかったことを、お手元の方に用紙を置いておりますが、特に様式はこだわりませんので、メール等であればベタ打ちでいただいても結構です。お名前等記入していただき、政策企画課宛てに郵送、FAX等で提出していただければと思います。11月4日までに提出の方、よろしくをお願いします。</p> <p>続きまして、2点目でございます。同じく本日の資料として「浜田市総合振興計画後期基本計画へ向けた意見集約」というものをお手元に置かせていただいております。そちらの資料には、各計画の一覧が載っております。後期基本計画に向けて、これは引き続き取り組んでいくべきではないかという調査をさせていただきたいと思っております。項目について引き続きやっていくべきだというものについて右側の空欄に印を付けてください。最後の頁については、新たに追加すべき目標や自由意見を記入する欄を設けておりますので、ご記入いただけたらと思っております。こちらの資料につきましては、第2回の開催を予定しておりますので、その際にお持ちいただけたらと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>続きまして、次回の審議会ですが、先ほどからスケジュールの説明をさせていただいておりますが、11月中旬ごろを予定しております。若干の調整により多少前後することはあると思っておりますが、詳細な日程が決まりしだい、皆さんの方にお知らせしたいと思いますのでご参加の程、よろしくお願いたします。</p> <p>(委員報酬等の支払いについてお知らせ)</p>
<p>◆ 閉会</p>	
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。只今の事務連絡につきまして、何かご質問ございましたら、よろしくをお願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>次回の審議会の予定についても説明いただいたところですが、次回審議会について、委員の皆さん、何かありますでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>後半駆け足で大変すみませんでした。本日の予定これで終了したことになります。全体を通して何かありましたら、お願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、最後に副市長から一言、いただけますでしょうか。</p>
<p>副市長</p>	<p>限られた時間、皆さんももっともご意見あったと思いますけども、先ほどありましたように、また後日、用紙でお届けいただけたらと思います。会議時間につきましても限られております。ここに書いてないことでも、こうしたほうがい</p>



	<p>いということがありましたらしっかり書いていただければと思います。</p> <p>今日、一つだけうれしかったことは、玉置委員さんから室内プールの管理が非常に良かったという、なかなかこういう会議でお褒めの言葉をいただくことが少なくございまして、とてもうれしく思っております。教育委員会から指定管理者の方へお伝えさせていただきます。こういう場でもお褒めの言葉がたくさんいただけるように、これからも努力していきたいと思っております。そのためにも、皆さんの意見をしっかり参考にして取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きよろしく申し上げます。本日はありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。進行で不手際が多かったかと思いますが、無事に終了することができました。ありがとうございました。それでは、以上を持ちまして審議会を終了いたします。</p> <p>お疲れ様でした。</p>

(午後 8 時 23 分閉会、所要時間 1 時間 56 分)